

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第728号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

1

2017

平成29年
1月1日発行

謹賀新年

INDEX

年頭あいさつ	3~7
第16回印刷産業環境優良工場表彰案内	8・9
札幌支部「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」	10
「page2017」案内	11
平成29年新年交礼会日程	11
平成29年紙上新年名刺交歓	12~17

[表紙] 初日の出 (1月1日: 苫小牧市)

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD
FONT
by MORISAWA

100%
古紙100%再生紙

VEGETABLE
OIL INK

PRINTING
P-00023

CSR

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

P-00023



北海道印刷工業組合
理事長

板倉 清

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、ご壮健で新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年中は、組合運営ならびに事業推進に格別のご協力ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の北海道は、北海道新幹線の開業、北海高校の夏の甲子園大会準優勝、北海道日本ハムファイターズの10年ぶりの日本一、北海道コンサドーレ札幌のJ1昇格など、明るい話題が多かった年でした。

経済環境は、政府の月例経済報告では「緩やかな回復基調が続いている」、経済産業省北海道経済産業局の最近の管内経済概況でも「緩やかに持ち直している」と景気の浮揚が伝えられており、明るい方向に向かっています。

道内印刷業界においては、社会・経済構造の大きな転換期で、既存需要の縮小、新規需要創造への過渡期にあり、新しい目線・発想での経営が迫られた一年であったと思います。

このような環境下において、北海道印刷工業組合は、組合員企業の繁栄・発展のため、さまざま活動を行って参りました。

なかでも、これまで23回にわたり開催されてきました展示会を、当組合が中心となり、装いを新たに学びと情報発信の場として、「HOPE2016 (HOKKAIDO PRINT EXPO)」として開催し、多くの方々から高い評価をいただきました。

本年も、北海道印刷工業組合は、これまで培ってきました事業の実績と成果を礎に各種の事業を積極的に進めて参ります。

7月に、第31回北海道情報・印刷文化典旭川大会を開催し、全道の組合員が一堂に会し、直面する問題を討議し、研鑽を重ね、経営基盤の安定強化を図り、親睦を深め、連携をより強固にし、情報技術が変革するなかでの印刷産業の方向性と位置付けを見出す契機にして参ります。加えて、新しい印刷産業を広く社会にアピールして行くとともに市民の皆さまに講演会を通して文化の還元を行って参ります。

2020年のオリパラ後に経済環境が大きく変わると言われるなか、10年後の我々の姿を捉えた「全印工連2025計画～新しい印刷産業へのり・デザイン」の浸透に努めて参ります。我々自身が「印刷」を時代に合わせ再定義することにより、自社の立ち位置が見え、将来の事業領域を見出すことが出来ます。

9月に、「HOPE2017」を、さらに工夫を凝らし、皆さまの学びと情報発信の場として、有効に活用できるよう努めて参りますので期待してください。そして、是非、足を運んでください。

組合員の皆さま自身が当事者となり組合事業に積極的に参加いただき、その成果が未加入の方々に伝播され、組織増強に繋がる「一石二鳥」を願う新年です。

最後になりましたが、関係諸官庁、各機関・団体をはじめ関連業界ならびに組合員の皆さまの一層のご理解とご支援をお願い申し上げ、新しい年が皆さまにとりましてより佳い年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとします。



経済産業省
北海道経済産業局長

見嶋 秀平

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年の我が国経済を振り返ると、名目GDP600兆円の実現に向けた「日本再興戦略2016」や、総事業規模28兆円に及ぶ「未来への投資を実現する経済対策」等、政府の成長戦略や経済対策により、雇用情勢や企業収益を中心とした経済の好循環が拡大しました。北海道経済も、インバウンドに支えられて好調な観光や雇用動向の改善などにより緩やかな持ち直しの状況が見られるとともに、北海道日本ハムファイターズの10年ぶりの日本一や北海道コンサドーレ札幌のJ1昇格などスポーツ面での明るい話題もありました。新年を迎えるに当たり、全国に比較して速いスピードで人口減少と高齢化が進展する北海道の現状を踏まえ、強みを伸ばす「攻め」、危機・災害に強い「守り」、エネルギー供給面から「支える」という3つの政策を着実に進めることにより、「強い北海道経済」をつくります。

まず、地域の未来につながる投資を加速化し、地域経済をけん引する、食、観光、ものづくり先端分野等における中核事業を支援することにより、ローカルアベノミクスを深化させます。食関連分野では、道内農水産物・加工品等の輸出力強化と生産性の向上へ向けた取組を進めます。広がる海外新市場の獲得へ向け、地域商社機能・空港機能を含めた食のグローバルバリューチェーンを構築するとともに、生産・加工現場等におけるIoT・AI・ロボット等の活用支援を通じて生産性を高めることにより、食関連産業の競争力強化を推進します。観光分野では、本年秋から本格開催されるNoMaps（映画・音楽・先端ITが融合する国際コンベンション）の持つソフトパワーを新たな価値・サービスとして道内外へ展開し、北海道や札幌の国際的認知度の向上や新たな未来志向のビジネスの創造に繋げます。また、アウトドア観光のブランド化やワインツーリズムの推進等、地域資源を活かした観光コンテンツの充実に加え、今後増加が見込まれるムスリムインバウンドの需要獲得等の取組により、北海道観光の満足度・消費単価向上、更なるインバウンドの拡大を目指します。さらに、産学官金連携を加速し、自治体による地方創生の取組をソフト・ハードの両面から支援するとともに、今後成長が期待される航空機・医療機器・新素材等ものづくり先端分野や医療・健康関連分野の競争力強化、新分野進出を支援します。

次に、北海道経済の活力源である中小企業・小規模事業者が最大限に活躍できる事業環境の整備を支援します。昨年夏、北海道は大型台風の連続上陸により甚大な被害を受けました。今後もこうした自然災害等緊急事態の発生が想定される中、道内中小企業・小規模事業者のBCP（事業継続計画）策定率40%達成へ向け、関係機関と連携しながら様々な施策を展開します。また、生産性向上やイノベーションな研究開発・設備投資へ向けた税制・補助金等による支援、創業促進、下請取引の適正化等を通じ経営力の安定・強化、新陳代謝の促進を図ります。あわせて、免税商店街の形成によるインバウンド需要獲得等を通じ、商店街の中長期的な発展・自立化を支援します。

北海道の経済成長を支え、道民生活の安全・安心を確保するための取組も着実に進めます。資源・エネルギーのより一層の経済的かつ安定的な供給確保のため、安全性の確保を大前提に泊発電所の再稼働を円滑に進めます。加えて、工場・ビル等事業所や家庭での省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組みます。また、昨年の電力小売全面自由化に続き、本年4月に予定されているガス小売全面自由化の円滑な始動へ向けた適切な環境整備を行います。さらに、製品安全確保や悪質商法対策を進め、消費者利益の増進に努めます。

こうした支援を有機的に連携させ、展開していくことにより道内企業の稼ぐ力や生産性が向上し、北海道経済の好循環と将来にわたる持続的な拡大発展につながることを強く期待しています。私を含め当局職員一同、地域の現場へ足を運び、自治体、産業支援機関、金融機関等の皆様と最大限に連携しながら、「強い北海道経済」の実現に尽力いたします。

本年が皆様にとって実りの多い飛躍の年となりますよう、心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



北海道知事

高橋はるみ

新年明けましておめでとうございます。

皆様とともに新春を迎えることができましたことを、大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、3月に道民の長年の夢であった北海道新幹線が開業しました。

北海道の歴史に新たな1ページが刻まれ、道外との交流拡大の大きな弾みとなりました。

スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの道産子選手の活躍や、北海高校の夏の甲子園準優勝、北海道日本ハムファイターズの10年ぶりの日本一、北海道コンサドーレ札幌のJ2優勝など、明るい話題が続き、道民に勇気と感動を与えてくれました。

また、食や観光の海外への売り込みや、安心して子育てできる環境づくり、医療・福祉サービスの確保など、地域創生に向けた様々な取組を進め、次への飛躍に向けた確かな礎を築くことのできた1年であったと思います。

一方で、8月から9月にかけて相次いだ記録的豪雨により、道内各地で未曾有の被害が発生しました。お亡くなりになられた方々とそのご遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。依然として、道民生活や地域産業に大きな影響が残っており、道としては、被災地域の速やかな復旧・復興に向け、引き続き国や市町村などと総力を挙げて取り組んでまいります。

今年は、これまで進めてきた地域創生を一層推進し、次のステージへと押し上げていく年にしたいと考えています。

海外戦略の新たな展開に向け、若者の海外留学への支援など本道の未来を担うグローバル人材の育成に取り組むほか、昨年シンガポールに設置したアセアン事務所を拠点として、北海道ブランドの発信や市場開拓、投資の呼び込みなどを強力に推進するとともに、新たな航空路線も活用した農水産物の販路拡大に取り組むなど、道産食品の一層の輸出拡大を図ります。

また、ICT等の先端技術を活用したスマート農業など、攻めの農林水産業を展開するとともに、中小・小規模企業の振興をはじめ、新エネルギーの開発や活用促進、健康長寿産業の振興など、次世代を担う成長産業の創造に取り組めます。

持続可能な活力ある地域づくりを進めるため、結婚、出産、子育てとそれぞれの段階に応じた切れ目ない支援を強化するとともに、東京に開設した「移住定住情報センター」を核とした情報提供や北海道版「生涯活躍のまち構想」の普及など、「北海道暮らし」の魅力を創造・発信し、道内に人を呼び込み、定着を促してまいります。

多くの道民の皆様から不安の声が寄せられているJR北海道の事業範囲の見直しについては、地域の皆様と連携・協力を図りながら、道としての役割をしっかりと果たしていきます。また、全国的にも例のない道内7空港の一括民間委託の取組を進め、空港の機能強化や航空ネットワークの充実により、広域観光やインバウンドの振興、さらには、北海道全体の活性化を図っていきます。

こうした取組を通じて、北海道の新しいキャッチフレーズである「その先の、道へ。北海道」に込められた思いを形にしていくため、北海道の無限の可能性を信じ、本道が有する潜在力を十二分に引き出しながら、道民の皆様とともに「輝きつづける北海道」の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして、希望に満ちたすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道中小企業団体中央会
会長

尾池 一 仁

新年あけましておめでとうございます。

北海道印刷工業組合の皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新興国の成長鈍化や原油安などに対する懸念にはじまり、英国のEU離脱、トランプ・ショックといった国際経済に影響を与える大きな出来事があり、国内ではマイナス金利政策の導入などもあって為替や株式の相場が激しく変動しました。また、熊本地震の発生や北海道と東北を襲った台風は、地域の産業経済や住民生活に深い爪痕を残すなど、グローバル経済の問題や気候変動に伴う災害リスクを痛感させられた一年でした。

一方、道民が待ち望んだ北海道新幹線は予想を上回る乗車率で函館市を中心に開業効果が認められ、道内への外国人観光客も引き続き増加しており、関連する産業分野は好調さを増しています。

そして迎えた平成29年は、地域や中小企業全体にはいま一つ景気回復感が得られず、近い将来の消費税率引き上げやTPPの影響など不透明感はぬぐえないものの、好調な観光や全国的に見て優位にある食・農業の分野が核となって幅広く本道経済が活性化することを期待するところであります。

また、当中央会が事務局を担っている「ものづくり補助金」事業も連続して5年目となり、革新的な取組の成果が道内各地で拡大しはじめています。さらに、官民をあげた運動が本格化している冬季オリンピック・パラリンピックの招致は、経済活性化の起爆剤になるものと思います。

このような状況にあって、当中央会は中小企業・小規模事業者に共通する課題を解決していくためには、相互扶助の精神のもとに連携し、組織の力を活かした取り組みを行うことがいっそう有効であることを確信しながら、これからも連携組織の専門支援機関として事業を推進してまいります。

昨年12月には道から事業を受託し、「ほっかいどう働き方改革支援センター」を開設しました。「一億総活躍社会」をめざし政府が推進しようとする「働き方改革」は、長時間労働の是正や同一労働同一賃金の実現などにより、女性や高齢者、若者の活躍する機会を拡大するとともに、われわれ企業の人手不足の解消、人材の確保・定着につながり、事業活動を円滑化させるものであります。

こうした事業をはじめ、当中央会は本年も皆様のニーズを敏感に捉え、さらにお役にたてるよう役職員一同努めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



全日本印刷工業組合連合会
会長

白田 真人

明けましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年10月の「2016全日本印刷文化典ふくしま大会」には、全国から700名を超える方々にお集まりいただき、全印工連の団結と協調、さらには将来の業界発展に向けての課題や方向性を確認することができましたことは、全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第です。

さて、昨年は、イギリスのEU離脱やアメリカ次期大統領にトランプ氏が選ばれるなど、国際社会が大きな転換期を迎える年となりました。国内では、リオデジャネイロオリンピックで日本選手団が大健闘するなど明るいニュースもありましたが、熊本地震や台風による災害の影響や「爆買い」の一服、個人消費の伸び悩みなど景況は依然として不透明感の残る年となりました。

このような中、全印工連では昨年5月に「全印工連2025計画 新しい印刷産業へのリ・デザイン」を発表し、私たち印刷産業が今後10年間、どこに目標を置き社会に貢献していくのか、そのためには何ができるのかを基調に「環境コラボレーション」、「地方創生産業クラスター」、「女性活躍推進」、「ダイバーシティ」、「CSR人づくり」の5つのテーマを掲げ、中小印刷産業のあらゆる可能性について模索を始めました。本年は計画をより着実に進める年となります。5つのテーマを中心に、産業として取り組むべき姿勢や進むべき方向性など具体的なプランを策定し、実践してまいります。

社会の期待に応えていくことが印刷産業の使命であり、これを志として日本全国の組合員企業とともに共有し、自信を持って大きな一歩を踏み出す年にしたいと考えております。皆様には本年も一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

第16回印刷産業環境優良工場表彰のご案内

(一社)日本印刷産業連合会は、第16回印刷産業環境優良工場表彰を行う。
応募要領は次のとおり。

①目的

印刷産業の環境に配慮した環境優良工場の表彰制度を実施することにより、企業規模、業態にかかわらず企業の環境問題に対する取組みを推進するとともに、印刷産業関連工場の環境の改善および印刷企業に対する社会の一層の理解の獲得を図り、もって我が国印刷産業の振興に資することを目的とする。

②応募資格

- ①(一社)日本印刷産業連合会の会員である10団体傘下の会員企業であること。
- ②平成29年2月1日において、工場稼動後3年以上経過していること。
- ③最近5ヵ年以内に環境法令等に基づき操業停止等の行政による処分を受けていないこと。
- ④第2次審査への応募は1企業1工場に限る。

③応募方法

所属する会員団体を經由して応募するものとする。

④応募の手続き

- ①第1次審査…下記の書類を1通提出する。
(ア)印刷産業環境優良工場表彰応募票—第1次審査用—
- ②第2次審査…下記の書類を正1通、副2通提出する。
(ア)印刷産業環境優良工場表彰候補工場応募票—第2次審査用—
(イ)工場全体、各作業場、環境関連施設およびその他記入項目に関する写真(別綴じ)
- ③応募書類は、(一社)日本印刷産業連合会のホームページ (<http://www.jfpi.or.jp>) からダウンロードする。

⑤応募期間

- 第1次審査：
平成28年12月1日
～平成29年2月3日
第2次審査：
平成29年2月20日
～平成29年4月21日

⑥表彰の種類

- ・経済産業大臣賞
 - ・経済産業省
商務情報政策局長賞
(小規模事業所振興部門あり)
 - ・(一社)日本印刷産業連合会会長賞
(小規模事業所振興部門あり)
 - ・(一社)日本印刷産業連合会奨励賞
(小規模事業所振興部門あり)
- ※上記賞以外に表彰に値する工場(継続性、業界貢献等)には特別賞を授与する。
※局長賞、会長賞、奨励賞は部門別に審査する。

⑦表彰の方法

表彰該当工場に賞状および記念品を授与する。

⑧表彰式

日時/平成29年9月13日(水)
会場/ホテルニューオータニ(東京都千代田区紀尾井町4-4)
※「2017印刷の月・記念式典」にて表彰(予定)



⑨審査基準

(1) 次の各号を満たしている工場を表彰の対象とする。(大臣賞、局長賞、会長賞)

- ① 工場の周辺環境対策^{※1}が同業種内の他の工場に比較して高水準にあることまたは近年における環境改善が著しいこと。
- ② 広域的な環境対策^{※2}が同業種内の他の工場に比較して高水準にあることまたは近年における環境改善が著しいこと。
- ③ 工場内における作業環境^{※3}が同業種内の他の工場と比較して高水準に管理されていること。
- ④ 環境管理体制が整備されており、環境対応が明確に企業経営の中で位置づけられていること。
- ⑤ 環境対応が企業経営の上で具体的効果をもたらしていること。

^{※1} 周辺環境対策（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、景観などから総合的に判断されるもの）

^{※2} 広域的な環境対策（地球温暖化防止、環境汚染物質の削減、化学物質管理、省資源、廃棄物処理、リサイクル等）

^{※3} 作業環境（労働衛生、労働安全、清掃・整理整頓などから総合的に判断されるもの）

(2) 奨励賞は上記によらず、特に努力および改善が認められる工場に授与する。

(3) 上記によらず、表彰に値する工場には特別賞を授与する。

⑩選考の方法

- ① 小規模事業所振興部門への応募工場は、同部門内で審査を行う。(局長賞、会長賞、奨励賞)
- ② (一社)日本印刷産業連合会・印刷産業環境優良工場表彰選考委員会の審査による。
- ③ 大臣賞、局長賞の工場は、審査委員会による現地審査^{※4}(6月1日～6月23日の期間内)を必須要件とする。

^{※4} 応募書類の内容の実施状況等（労働災害状況等含む）の確認審査

⑪事後の報告

会長は、受賞工場から工場環境について、適宜報告を求められることができる。

⑫留意事項

① 選考にあたっては、環境負荷が高い業種、企業規模の小さい工場、設立後の年数が経っている工場等が不利にならないよう、環境配慮に努力している点を評価する。特に印刷産業の大半をなす小規模事業所の環境改善活動を振興するため、小規模事業所振興部門を設置している。

② 過去に本表彰を受賞した工場については、その上位の賞に限り選考の対象とする。

⑬問合せ先

一般社団法人日本印刷産業連合会 環境表彰担当
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館
電話03-3553-6051 FAX03-3553-6079
E-mail info.dm@jfdpi.or.jp

札幌支部が「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」開催

札幌支部（岸 昌洋支部長）は、「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」を、11月17日、約50人が参加して開催し、キヤノンマーケティングジャパン(株)、コニカミノルタジャパン(株)、富士ゼロックス(株)、リコージャパン(株)の札幌市内のショールームを回り、プレゼンを受けた。

キヤノンマーケティングジャパン(株)とキヤノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)では、キヤノンの「Production Print Flow Manager」を中心としたJDFワークフローについて説明が行われた。作業の順番や面付け、印刷設定などの前準備や、テスト刷り、実際の印刷、検品作業を自動化、省力化することで、単価の低い多品種・小ロットのジョブでの利益を創出する方法が示された。また、drupa2016で紹介されたキヤノンのインクジェットシステム4機種が紹介され、米国で開催されたインクジェット系のユーザー会の様子や米国印刷会社の事例、2017年国内発売予定のカット紙フルカラーインクジェットシステム「VarioPrint i300」の活用状況が説明され、コスト削減と生産性向上の面からインクジェットシステムの可能性が強調された。

コニカミノルタジャパン(株)では、自社のPODラインアップに、インクジェットB2デジタル印刷機「KM-1」、bizhubPRESSのエンジンを搭載したデジタルラベル印刷機を加えたことが紹介された。さらに、MGI社のジェットバーニッシュによるスポットニス、デジタルフォイル、3Dフォイル加工の特殊表現をもたらす仕組みなどのデジタル加飾の効果が説明された。プレゼン終了後、bizhubPRESS C1070を見学し、KM-1やジェットバーニッシュの出力サンプルを体感した。

富士ゼロックス(株)では、IoTとデジタル印刷の関わりについてのプレゼンが行われた。AI（人工知能）の進化が説明され、SNSを利用した出版の可能性が示された。事例では、フェイスブックから自分だけの新聞の制作を行っている山梨県での地方紙の取り組みが紹介された。プレゼン終了後、Versant3100Pressによるクリーサーや角背製本の実演が行われた。

リコージャパン(株)では、drupa2016に出展された多品種・小ロットのジョブを効果的に処理し、同様の属性のジョブを自動でまとめるほか、プリフライトチェックを自動化し、これにより人手に頼っていた印刷前準備が省力化できるデジタルワークフローソリューション「TotalFlow Batch Builder」の効果が説明された。さらに、2016年秋発売のプリンターコントローラ「TotalFlowプリントサーバーR-61」の提案では、コダック、ハイデルベルグ、SCREENのワークフローと連動したPODとオフセット印刷のハイブリッドの事例として、リコーのラグビーチーム「ブラックラムス」の、通年で使うページをオフセットで、バリエーションのあるページをPODで印刷している中綴じパンフレットが紹介された。



キヤノンマーケティングジャパンでのプレゼン



コニカミノルタジャパンでのショールーム見学



富士ゼロックスでのVersant3100Pressの実演



リコージャパンでのプレゼン

「page2017」のご案内

公益社団法人日本印刷技術協会は、「page2017」を、2月8日から10日まで東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターで開催する。

page2017は、「ビジネスを創る—市場の創出」をテーマに掲げ、展示会には150社・530小間が出展し、3つの基調講演を含むカンファレンス（17セッション）、セミナー（16セッション）が企画されている。また、今回は、初となる印刷会社の出展ゾーンの「印刷パートナーゾーン」が新設される。

日 時	平成29年2月8日(水)～10日(金) 10:00～17:00
会 場	サンシャインシティコンベンションセンター（東京都豊島区東池袋3-1）
入場料	1,000円（Web事前登録で無料）

平成29年新年交礼会日程

名称・支部	日 時	時 間	会 場
北海道印刷関連業協議会	1月10日(火)	17:00	札幌グランドホテル
旭川支部	1月13日(金)	17:00	旭川グランドホテル
函館支部	1月13日(金)	18:00	一乃松
小樽支部	1月20日(金)	18:00	ニュー三幸
オホーツク支部	1月23日(月)	18:00	北見ピアソンホテル
十勝支部	1月27日(金)	19:00	ホテル日航ノースランド
札幌支部合同例会	2月17日(金)	18:00	札幌東急REIホテル